

6番 繁昌誠吾 議員

1 イベントの中止について

- (1) かのや夏祭りや農業まつり等ほとんどのイベントが中止となっている。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から一定の理解はしているが、休業要請や外出自粛等により本市の経済状況はひっ迫している。市長はこの状況をどのように認識し、今後どう対応していく考えか。

また、執行されなかった予算については、市民生活の安定に有効活用すべきだと思うが、どうか。

2 有害植物について

- (1) ナガボノウルシについて

- ① 令和元年9月定例会で質問及び答弁があったナガボノウルシの発生については、除草剤散布のチラシの配布等を行っているが、市内各地で発生が続いている。現状の認識と今後の課題及び取組について示されたい。

3 公共施設について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の発生により、公共施設の閉鎖や休止等行われているが、施設により対応がバラバラである。基本的に利益を追求する施設はないとの認識だと思うが、施設ごとの対応に市民から不満の声が届いている。以下の施設の対応や現状について示されたい。

- ① アクアゾーンくしらは新型コロナウイルス感染症の対策が難しいとのことで、休止となっているが、中央公園プール等開放している施設もあった。本市にとって夏場の最大の娯楽施設だと思うが、休止となった理由と来年以降の対応を示されたい。

また、市民から開業の要望はなかったか示されたい。

- ② 湯遊ランドあいらは宿泊を休止したが、民間の指定管理者にとって宿泊の休止は致命的である。指定管理者との契約内容はどうなっているか。
- ③ 10月1日開業予定の子育て交流プラザは、当初7月開業とのことであったが、新型コロナウイルス感染症の発生により数か月遅れの開業となるようである。今年度の感染症対策を示されたい。

また、新型コロナウイルスによる開業延期に対する県との協議はどうなっているか。

6番 繁昌誠吾 議員

- (2) 公共施設の維持には多くの税金が投入されている。所管ごとの対応にも一定の理解はするが、休業や自粛により運営が厳しくなる施設がある一方、人件費や光熱費等全てを税金で賄っている施設には影響がないのが現実である。公共施設について再検証する時期だと思うが、どのように考えているか。

4 観光行政について

- (1) おおすみ観光未来会議について

- ① 平成30年8月に設立したおおすみ観光未来会議は、当時の職員全てが退職した。本市が中心的役割を担い、株式会社として立ち上げた会社であるが、状況を監視することができない株式会社としたことは失敗ではなかったか。
- ② 市長の任期も1年半を切る中、この会社に市長は何を期待し、どう結果を求めていくのか。株主として、大隅総合開発期成会の会長として、4市5町の方々から理解が得られるようなビジョン・目標を示されたい。
- また、コロナ禍における事業の推進はどう図っていくのか示されたい。

- (2) 観光資源の乏しい本市において、観光協会をはじめ民間の方々が多様な取組を行っている。近隣市町も同様に独自の観光振興を図る取組を行っているが、コロナ禍の本市独自の観光振興策、交流人口の増加策を示されたい。